

はじめに



2011年3月に発生した東日本大震災の後、世界各地から温かい支援が日本に多数寄せられたことは、日本と国際社会との関係が一方的なものでは無く、連帯と相互依存に根差すものであることを改めて認識する契機となりました。

このような国際社会と日本とが共に安定・平和と繁栄を享受できるよう、日本の一元的な開発援助機関として活動を行っている JICA は、効果的かつ効率的な事業・業務を行なうことが常に求められています。

こうした観点から、JICA が実施する開発途上国向け事業の評価を適切に行い、そこから得られる教訓を活用することと併せ、その評価結果を適時に公開していくことが重要であると考えます。

本書は、JICA が行なった事業評価を年次報告として取りまとめたものです。事業評価の制度や評価の改善に向けたこれまでの取組みについて紹介すると共に、外部の評価者に行って頂いた事後評価の結果やテーマ別評価の概要も掲載しております。

この報告書が JICA の活動に対する皆様のご理解の一助となれば幸いです。
引き続きのご鞭撻とご支援を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

2013年3月
国際協力機構（JICA）
理事長
田中明彦